

事業の概要

興味・関心を持たせる授業の展開に加え、個々の学生の状況に合わせた学修支援を開発し初年次教育を改革する。これらは本学科が課題及びその原因として挙げている「学業不振による退学」に対する取り組みとなる。

DX導入とのその活用は、「学びの質の向上」、「学修者本位の教育の実現」に資するための取り組みとなり、学修成果の可視化を実現するものとなる。

事業実績の概要

Virtual Reality (VR) の導入



先行研究の調査、VRの試用と事前アンケート調査による課題作成

今後期待される効果

Virtual Reality (VR) 活用に向けて授業資料作成

初年次教育の改革

個々の学生に合わせた学習支援

教育効果の最大化

退学者防止

学修成果の可視化
実現

- 解剖学へのVR導入による授業効果を検証した先行研究の調査
- 令和5年度授業より解剖学、解剖学実習においてVRを導入した授業の展開
- 個別支援を必要とする学生にVRを活用した指導の実施
- 「VRを使用した学修」と「従来のテキスト学修」それぞれにおいて事前アンケート調査の実施
- 退学者防止、学習成果の可視化を実現するためにVRを活用した授業開発